

・抵抗性出現を防止するため、同一成分の薬剤は年1回の使用とする。
 ・地域により薬剤の効果が低いハダニ類が発生しているため、薬剤の選択に留意する。
 ・ボルドー液と混用しない。

殺ダニ剤の適用表

薬 剤 名	希 釈 数	使用時期			対象のハダニ						注意事項	
		5月	7月	8月	リンゴハダニ			ナミハダミ				
					卵	幼虫	成虫	卵	幼虫	成虫		
オサダンフロアブル	2000倍											ボルドー液と近接散布すると効力が劣るので、ボルドー液散布後は30日間隔をおいて散布する。また、本剤散布後10日間はボルドー液を使用しない。
バロックフロアブル	2000倍						×				×	ボルドー液と近接散布すると効力が劣るので、ボルドー液散布後は使用しない。また、本剤散布後2週間はボルドー液を使用しない。
ニッソラン水和剤	2000倍						×				×	
ダニトンフロアブル	1000倍											ダニトンフロアブル、サンマイト水和剤、ピラニカ水和剤、ピラニカEWは同一成分とみなし共に使用は避ける。また、目に入らないように注意する。
サンマイト水和剤	1000倍											
ピラニカ水和剤	1000倍											
ピラニカEW	1000倍											
カネマイトフロアブル	1000倍											ボルドー液と近接配布すると効果が劣るので、14日間以上間隔をおいて散布する。
マイトコーネフロアブル	1000倍											ボルドー液と近接配布すると効果が劣るので、ボルドー液との感覚は前後とも2週間以上あける。
オマイト水和剤	750倍				×				×			収穫後に使用する。 ボルドー液と近接散布すると効果が劣るので、ボルドー液との間隔は前後とも1週間とする。
コロマイド乳剤	1000倍											
ダニサラバフロアブル	1000倍											ボルドー液との間隔は2週間以上あける。

対象のハダニ： 効果が高い 効果がある 効果がやや劣る ×効果がない